2026年
5月15日(金)

但馬4JC5月合同例会

於：豊岡地区コミュニティセンター



5月15日(金)、豊岡地区コミュニティセンターにて「但馬4JC 5月合同例会」を開催しました。

会員スピーチでは、「私のLOMの魅力」をテーマに香住青年会議所、南但青年会議所、美方青年会議所、豊岡青年会議所から各1名が登壇しました。
豊岡青年会議所からは石原君が登壇し、LOMへの熱い想いや活動を通じて感じる魅力について語られました。

講演会では、「全国大会の意義を学び、関わり方を考える」をテーマに、上根 彩先輩(一般社団法人神戸青年会議所 直前理事長)、武部 俊君(一般社団法人神戸青年会議所 副理事長)を講師としてお招きしました。
全国大会の意義や、その経験から得られる学びについて理解を深めるとともに、今後どのように関わっていくべきかを考える貴重な機会となりました。

また、今年の全国大会の神戸誘致に尽力されたお二方の実体験をお聞きすることで、入会歴の浅い会員が多い豊岡JCにとって、全国大会との関わり方を学び、意見を交わす有意義な時間となりました。講演を通じて会員一人ひとりの意識が高まり、LOM全体の士気向上につながる例会となりました。　　(魅力ある地域創造委員会委員　脇　龍一)

おくやみ

2月13日
由利 総太郎OBがお亡くなりになりました。
2月23日
荒木 正ニOBがお亡くなりになりました。
2月24日
佐藤 直彦OBのご尊父様がお亡くなりになりました。
4月6日
今井 大輝君のご尊父様がお亡くなりになりました。
5月8日
小林 千晶OBがお亡くなりになりました。
5月12日
関貫 久仁郎OBのご尊父様がお亡くなりになりました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

事業案内

➤ 創立65周年記念式典・祝賀会
日時　6月28日(日)
場所 神鍋高原ブルーリッジホテル ハーモニーホール
➤ 7月例会
日時　7月10日(金)
場所 豊岡地区コミュニティセンター3階 集会室1・2

編 集 後 記

創立65周年を迎える本年度、豊岡青年会議所では新たに3名の新入会員を迎え日々のLOM活動に精力的に取り組んでいます。5月に開催した創立65周年特別事業「はばたけ！こいのぼり2026」では本当に多くの皆様にご参加いただきました。事業を通じて但馬の子どもたちへ私たちの想いや願いを届けることができたのではないかと感じています。　(魅力ある地域創造委員会)

一般社団法人豊岡青年会議所
公式ＷＥＢサイト
発行日：令和8年 6月 12日
住　所：豊岡市幸町6番35号
ＴＥＬ：0796-22-4041
発 行 所：一般社団法人豊岡青年会議所
編集発行人：魅力ある地域創造委員会
印　　刷　：魅力ある地域創造委員会
Facebookもチェック

JCI Junior Chamber International Japan
一般社団法人 豊岡青年会議所
絆 きずな
No.705　2026年6月号



2026年
1月9日(金)

1月第1例会・通常総会

於：豊岡地区コミュニティセンター



1月9日(金)、豊岡地区コミュニティセンターにて2026年度最初の1月第1例会･通常総会を開催しました。村尾理事長挨拶よりスローガン「United～ひとつになろう 未来は私たちの手で～」について語られました。
人とのつながりを大切にしながら、一人ひとりが自分の可能性を信じ、仲間とともに挑戦することで、豊岡に誇りを持てる未来を切り拓いていく。その想いが込められています。
会務報告では、出向者より役割や学びをLOMに持ち帰り、組織全体の成長につなげていく決意が共有されました。

1月には新たに3名の仲間が加わりました。それぞれが堂々と想いと抱負を語ってくれました。
新しい仲間とともに、United の精神で、未来へ一歩ずつ前進していきます。

(魅力ある地域創造委員会委員　高橋　直)

2026年1月22日(木)
～1月25日(日)

京都会議

於：国立京都国際会館



京都の国立京都国際会館にて開催された「京都会議2026」に参加してきました。各フォーラムへメンバーそれぞれが参加し、家庭から考えるカーボンニュートラルや、身近な気づきから心の豊かさを知るウェルビューイング等多くの学びを得ました。

豊岡青年会議所より日本青年会議所へ出向中の一ノ本直前理事長・早川副理事長が運営に携わっている「JCブランドマネジメントセミナー」では、今治タオルを復活へと導いた今治タオル工業組合の田中理事長による価値を正しく伝えるためのセミナーが行われました。セミナーの内容はもちろん、お二人の雄姿からも大きな刺激をいただきました。

また、新年式典では「日本青年会議所2026年度 会頭所信」に触れ、今年一年の運動の方向性と、私たちが進むべき軸を確認する機会となりました。今回得た学びをしっかりと持ち帰り、2026年度の運動に反映してまいります。(魅力ある地域創造委員会委員　石原　光)

2026年
2月13日(金)

2月第1例会

於：豊岡地区コミュニティセンター



2月13日(金)豊岡地区コミュニティセンターにて、2月第1例会を開催しました。

会員スピーチでは、「今年1番背中で示したいこと」を今井君・小林君の両委員長が登壇し、この１年間の覚悟と想いが語られました。

講演会では、テーマ「なぜ、あの人の周りには人が集まり続けるのか」と題し、向井 大輔先輩(みなと神戸法律事務所代表／明石青年会議所 第61代理事長) を講師にお招きしました。成長の機会から逃げず、本気で向き合い続ける姿勢こそが、人と人をつなぎ、輪を広げていくのだと学ぶ時間となりました。　(会員拡大室室長　権　基)

2026年
5月5日(火・祝)

創立65周年特別事業「はばたけ！こいのぼり2026」

於：豊岡市中央公園



5月5日(火・祝)こどもの日、豊岡市中央公園にて創立65周年特別事業「はばたけ！こいのぼり2026」を開催いたしました。

本事業では、「はたらく → かせぐ → つかう」という一連の体験を通じて、子どもたちが地域の魅力や多様な仕事に触れ、自分の将来やこのまちで暮らす姿を思い描くきっかけを創出することを目的として取り組んでまいりました。

当日は、多くの子どもたちが真剣な表情で仕事体験に取り組み、紙幣を手に嬉しそうに使う姿や、こいのぼりトンネルの下で笑顔を見せる姿が非常に印象的であり、本事業の意義を改めて実感する一日となりました。

また、「はたらくのりものエリア」では、消防車や救急車、重機、除雪車、災害対応車両など、普段はなかなか間近で触れることのできないインフラを支える車両が集結し、子どもたちにとって非常に貴重な体験の場となりました。

地域の安心・安全や暮らしを支えている仕事を“実際に見て・触れて・感じる”ことで、社会の仕組みや役割への理解を深める機会になったと感じております。

本事業は、単なる一日限りのイベントではなく、子どもたちの未来や地域の可能性に繋がる大切な機会であったと考えております。

今回の経験を今後の運動へと繋げ、より良い地域づくりに活かしてまいりたいと思います。

(魅力ある地域創造委員会委員長　小林　秀司)

2026年4月24日(金)
~4月25日(土)

全州青年会議所公式訪問

於：大韓民国　全州市



4月24日(金)4月25日(土)、2018年以来となる全州青年会議所の記念式典への参加をしてまいりました。全州青年会議所との交流はコロナ前の2019年が最後となり、以降WEBで交流となってきていましたが、豊岡青年会議所65周年となる節目の年でもあり、両青年会議所の交流への機運が高まり訪問する運びとなりました。

全州青年会議所の記念式典ではパク・マンウ会長から力強いメッセージが送られ、各姉妹JCの登壇やスピーチもありました。

村尾理事長からはお祝いの言葉だけでなく、今後の全州青年会議所と豊岡青年会議所との未来についても語られ交流を深める機会となりました。

式典が終了した後も懇親会や朝食会などで参加した豊岡青年会議所メンバーをご紹介いただき、様々なメンバーと交流を図り、懇親を深めることができました。

先輩諸兄が築いてこられた全州青年会議所との絆を今後とも深め、両青年会議所のさらなる発展と友情につながる交流を継続してまいります。

（副理事長　早川　陽祐）

2026年
2月3日(火)

会頭座談会

於：ラ・スイート神戸オーシャンズガーデン



2月3日(火)ラ・スイート神戸オーシャンズガーデンにて、日本青年会議所 加藤 大将 会頭による会頭座談会が開催され、兵庫県内各地会員会議所の理事長が参加し意見交換を行いました。

当日は、JC活動への原動力や子どもの教育を起点とした人財育成、メンバー同士が信頼関係を築くための関わり方、組織内における円滑なコミュニケーションの在り方などについて活発な議論が交わされました。

加藤会頭からは、「まず自分自身がわくわくしていることが大切であり、その想いが人を動かし組織の原動力となる」との考えが示されました。また、JC運動は自己の利益のためではなく、市民や地域社会のために行う運動であり、市民から「ありがとう」と言われる組織であるためには、最後までやり遂げる姿勢が重要であるとのお話がありました。

今回の訪問を通じて、地域に必要とされる組織であり続けるための考え方や、運動を推進するうえでの姿勢について改めて学ぶ機会となりました。豊岡青年会議所としても、地域から信頼される運動を展開できるよう、今後の活動に活かしてまいります。　（専務理事　広山　和基）

2026年
3月13日(金)

3月第1例会

於：豊岡市民会館



3月13日(金)豊岡市民会館にて3月第1例会を開催しました。一般社団法人丹波青年会議所 第49代理事長を歴任され、現在は株式会社ヒカミ化成 取締役専務でもある 上羽 裕樹 先輩 に「想いと行動が、私たちのまちの未来をつくる」をテーマにご講演いただきました。

「なぜ事業をするのか？」を出発点に事業構築の考え方として「理念（組織が大切にする価値観）に基づいて、運動・運営を進めること」「社会にどんな影響を与えるのかを考えること」「何のために・誰のために・何をするのか」、背景・目的・手法を整理し、事業を言語化することを学びました。特に「言語化」という点は、協力者に共感してもらい、仲間を巻き込むために欠かせないことで、創立65周年特別事業「はばたけ！こいのぼり2026」を進める私たち豊岡青年会議所にとっても、まさに必要不可欠な学びとなりました。

（魅力ある地域創造委員会委員長　小林　秀司）

2026年
3月16日(月)

3月勉強会

於：豊岡市水道会館





3月16日(月) 豊岡市水道会館にて資質向上勉強会を開催しました。勉強会では、講師に但馬信用金庫の小山 尚之氏をお招きして、できる経営者の共通点、マナーの本質、クッション言葉などについて学びました。「知っている」と「やっている」は別物であり、この差を埋めることが、信頼を積み上げることだと改めて気づく90分でした。
豊岡JCは今年も、メンバー一人ひとりの資質向上に取り組んでいきます。

(会員拡大室室長　権　基)

2026年
3月26日(木)

災害時における相互協力に関する協定締結式

於：豊岡健康福祉センター







豊岡市社会福祉協議会、豊岡商工会議所青年部、豊岡市商工会青年部、そして豊岡青年会議所の4者間において、「災害時における相互協力に関する協定」の締結式を執り行いました。
近年、全国各地で自然災害が頻発する中、地域に根差した団体同士が平時から連携を深め、有事に備えることの重要性はますます高まっています。本協定は、災害発生時に各団体が相互に協力し、迅速かつ効果的な支援活動を行うための体制を構築するものです。
締結式を通じて、防災・減災に対する意識を改めて共有するとともに、地域を支える青年団体として、有事の際には率先して行動し、地域住民の安全・安心に寄与する責任を再認識する機会となりました。
災害発生時には、ボランティアセンターの運営支援をはじめ、関係機関と連携しながら被災地の復旧・復興に向けた活動を行ってまいります。
今後も平時から他団体との連携を強化し、地域の防災力向上と持続可能な支援体制の構築に努めてまいります。

(総務委員会副委員長　大木本　卓也)

2026年
4月10日(金)

4月第1例会

於：豊岡地区コミュニティセンター







4月10日(金)豊岡地区コミュニティセンターにて4月第1例会を開催しました。
会員スピーチでは、「一番大切にしていること」をテーマに権君が登壇しました。
自身の想いや価値観、日々大切にしている考え方について語られました。
講演会では、「将棋に学ぶ、主体的に動くための思考法」をテーマに、松本 瑞夫氏（株式会社コーチングプロジェクト 代表取締役／一般社団法人けあととも 代表理事／将棋経営塾® 代表）を講師にお迎えしました。
講演前半では、将棋における「局面を読み、自ら次の一手を判断する思考法」について学び、後半のグループワークでは、簡易版将棋である「どうぶつしょうぎ」を通じて実践的に体験しました。
自ら考え、行動する力の大切さを改めて学ぶ貴重な機会となりました。
今回得た学びを、JC活動はもちろん、日々の仕事や地域活動にも活かしてまいります。

(総務委員会委員　塩見　翔太)

2026年
4月11日(土)

LOM役員懇談会

於:但馬楽座







4月11日(土)但馬楽座にて開催されたLOM役員懇談会に参加しました。
懇談会では、委員会運営において課題と感じている事項について、マンダラブレスト分析を活用しながら課題を整理し、どのような順序で解決へ導いていくべきかを役員団の皆様と協議しました。課題を多角的に捉え、具体的な解決策や行動計画を考える機会となり、委員会運営における大きな気づきと学びを得ることができました。
また、限られた時間の中では話し切れなかった内容についても、懇親会の場で役員団の皆様と意見交換を行うことができ、より深い学びと交流につながる有意義な時間となりました。
今回のLOM役員懇談会で得た学びや気づきを今後の委員会運営に活かし、より良い組織運営につなげてまいります。

(総務委員会副委員長　大木本　卓也)